

工業会 日本万引防止システム協会

西暦2023年度

令和5年度通常総会


議案書

～ 防犯民主主義実現に向けて ～

EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

日時: 令和5年6月2日(木) 開催
場所: 主婦会館プラザエフ 9階スズラン

認定個人情報保護団体

 工業会 日本万引防止システム協会

西暦 2023年度

工業会日本万引防止システム協会令和5年度通常総会開催概要 …ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～…

- 日時 2023年6月2日(金) 13:00～(受付開始 12:40)
- 主婦会館プラザエフ 第1・2部 9F スズラン 第3部 8F スイセン
- 第1部 総会 (13:00～13:45) <9階スズラン>
 - 1. 開会
 - 2. 会長挨拶
 - 3. 議長選出
 - 4. 議案
 - 第1号議案: 令和4年度事業報告、収支決算の件
 - 第2号議案: 推薦製品制度の発令、推薦製品の紹介
 - 第3号議案: 令和5年度組織・人事の件
 - 第4号議案: 令和5年度事業計画、収支予算の件
 - 新役員挨拶、新会員への会員証授与、記念写真
 - 5. 閉会 (13:25頃を予定)
 - 6. 推薦製品認定制度やセルフレジ対策進捗の報告
 - 7. 感謝状贈呈
 - 株式会社三宅 代表取締役社長 三宅 正光 氏 (JEAS 副会長)
 - 一般財団法人流通システム開発センター元調査部長 佐藤 聖 氏 (JEAS 顧問)
 - 北海道大学 准教授 日景 隆 様
 - ひかり総合法律事務所 弁護士 板倉 陽一郎 様
 - 8. 来賓挨拶
 - 総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 藤原史隆 様
- 第2部 記念講演会 (14:00～16:00) <9階スズラン>
 - 特別講演のテーマ: ICT 教育を小売業全体で実践!そして宇宙への道**
 - 1. “学校教育の未来と ICT 活用<仮題>”
 - 神奈川大学附属中・高等学校副校長
 - 宇宙エレベーターロボット競技会実行委員長 小林道夫 様
 - 2. “小売業のチェックアウト改革と防犯・ロス対策のチャレンジ<仮題>”
 - 一般社団法人リテール AI 研究会 理事 株式会社 Retail AI 兼 株式会社
 - トライアルホールディングス エグゼクティブアドバイザー 西川晋二 様
 - 3. 来賓挨拶 個人情報保護委員会事務局 企画官 大星光弘 様

※諸般の事情により、内容や発表順が変更となる場合があります。

【オンライン配信】

今年も総会及び記念講演については各地の皆様がご参加できるよう会場参加だけでなくオンライン参加も可能となっております。オンライン参加の皆様へは、活動報告・記念講演の映像配信 (Microsoft Teams ウェビナー配信等) を準備しております。

工業会 日本万引防止システム協会(JEAS) <工業会活動の主旨>

当工業会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行う。

1. 万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する。
2. 行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う。
3. 万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

(第1号議案) 西暦 2022 年度 令和4年度事業報告、収支決算の件

1. 事業の概要

みなさまのお蔭をもちまして6月2日で設立22年目を迎えます。JEASは平成30年には経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年9月に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数58法人(昨年度末49法人)が参加する産業団体に成長しております。

さて、最近の犯罪の状況ですが、令和4年は20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。万引の認知件数はその中でも13.9%と高止まりが続いております。今年に入って各地の報道で「万引、侵入盗、自転車盗などが急増しており、犯罪に目を光らせるとともに、県民に自転車や自宅の鍵かけ、店舗では商品管理の徹底などを呼びかけている。」等の啓発記事が目につくようになっていきます。

万引の特性としては、高齢者の常習万引、セルフレジ万引の顕在化、組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、国際化、悪質化が目立ってきています。

(1) その対策に向けて、進化する顔認証システムを活用した第2回科学保安講習会(※1)を昨年11月に開催しました。科学保安講習会では、当工業会が認定した顔認証システムの実践的活用方法に加え、個人情報保護法遵守を強化しました。

(2) ハード面では北海道大学での医療機器とのEAS干渉試験には4機種が参加し「EASステッカー」貼付が認められました。ソフト面では万引防止システムの基礎を学ぶ第7回JEAS講習会を7月(※2)に開催しました。工業会は設立以来、各種法令順守、機器の安全運用に尽力しております。

(3) DXやAI技術により新たに生まれつつある製品の特性をよく学び、その先のユーザーのニーズを知るため、政策・研究委員会を中心に各委員会で話し合い、2月3日のJEAS理事会で「推薦製品認定」(※3)を発令することしました。

広報活動では2月28日開催したSECURITY SHOW 2023 ステージJEASセミナーでは「緊急指令！セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ！」はお陰様で約850名の視聴がありました。同会場のJEASブースも前年の1.5倍の集客がり、多くのユーザー様のご相談に対応しました。その他、無人店舗・セルフレジ・業務効率化などの事例の調査をするDX推進プロジェクトでセルフレジ不正対策の冊子作りを開始しました。さらにユーザー様向けの公式フェイスブックやロス対策メルマガ配信など、今後も安全・安心のために向けたつながりの輪を構築して参ります。

(※1) 第2回科学保安講習会

(※2) 第7回JEAS講習会

(※3) 推薦製品認定



2. 工業会の活動報告

<理事会>

令和4年4月27日
令和4年6月2日(総会)
令和4年7月9日
令和4年9月9日
令和4年12月9日
令和5年2月3日

<運営委員会>

令和4年4月27日
令和4年7月9日
令和4年9月9日
令和4年12月9日
令和5年2月3日

3. 各委員会活動報告

(1) ユーザー団体幹部との万引犯罪防止対策会議、関係官庁よりの連絡対応及び委員派遣

※はオンラインでの参加

- ・4月6日 日経ビデオ「お店の万引対策」試写会開催
- ・4月7日 ファッション DX 展示会(ビッグサイト)見学
- ・4月14日 万防機構 LP 教育制度委員会※
- ・4月14日 万防機構 大量窃盗会議 リモート
- ・4月14日 個人情報保護委員会 有識者会議※
- ・4月15日 万防機構 渋谷プロジェクト検証委員会※
- ・4月19日 日本防犯設備協会 制度委員長退任お礼の挨拶
- ・4月20日 東京万引き防止官民合同会議 養成講座講師 碑文谷警察署にて
- ・4月23日 電磁界センターセミナー IH ジャーとIH コンロの安全対策
- ・4月26日 個人情報保護委員会との打ち合わせ(JEAS 保護指針について) ※
- ・4月27日 第1回運営委員会・理事会
- ・4月27日 万防機構 理事会
- ・5月6日 フロアー内事務所の引っ越し
- ・5月6日 警備保障タイムズ瀬戸記者と打ち合わせ
- ・5月11日 危機管理総合展責任者 吉田様と10月セミナー打ち合わせ
- ・5月12日 万防機構 事務局体制打ち合わせ
- ・5月12日 万防機構 壁新聞と保護者用リーフレット会議
- ・5月16日 主婦会館で総会事前テスト実施
- ・5月19日 万防機構 大量窃盗会議
- ・5月19日 茨城県防犯設備協会の設立に向けての打ち合わせ
- ・5月20日 万防機構 運営委委員会
- ・5月24日 万防機構 LP教育制度作成委員会※
- ・5月30日 総会スタッフ事前打ち合わせ

- ・6月2日 JEAS通常総会
- ・6月6日 日本小売業協会 企業経営委員会リモート
- ・6月8日 今後の組織打ち合わせ
- ・6月9日 日本ボランタリーチェーン協会総会・交流会
- ・6月10日 日本NCR社長とJEAS入会の打ち合わせ
- ・6月14日 万防機構 通常総会
- ・6月15日 米国リアルネットワークスのアジア責任者とJEAS入会打ち合わせ
- ・6月17日 個人情報保護委員会と店頭表示POP打ち合わせ
- ・6月17日 日本小売業協会 生活委員会リモート
- ・6月17日 高知市教育委員会セミナー 講師
- ・6月22日 JEAS技術基準委員会
- ・6月23日 万防機構 LP委員会
- ・6月23日 万防機構 集団窃盗会議
- ・6月24日 東京万引き防止官民合同会議 モデル店舗審査 高井戸署管内のセブンイレブン
- ・6月30日 市川ビル防犯会議(書籍贈呈)
- ・6月30日 東京万引き防止官民合同会議 モデル店舗審査 イオンスタイル碑文谷店
- ・7月1日 万防機構 渋谷プロジェクト会議※
- ・7月5日 リテールテック OSAKA セミナー録画
- ・7月12日 推奨顔認証システムのオリエンテーション(リアルネットワークス社)※
- ・7月15日 リテールテック OSAKA セミナー公開(7月25日まで)
- ・7月20日～21日 ペガサス政策セミナー※
- ・7月20日～22日 リテールテック OSAKA ブース対応
- ・7月26日 万防機構 LP教育制度作成委員会※
- ・7月26日 万防機構 集団窃盗会議※
- ・7月29日 個人情報保護委員会事務局大星企画官訪問
- ・8月4日 個人情報保護委員会と顔認証導入店の告知文についての会議
- ・8月4日 JEAS セントラル警備保障社への15分勉強会のお願い
- ・8月18日 経済産業省 情報経済科 島岡課長補佐(画像の商業利用の担当)
- ・8月29日 帝国繊維三上氏よりミリ波を使ったガソリン持込検知器提案を受ける。
- ・8月23日 万防機構 LP制度作成委員会※
- ・8月25日 万防機構 集団窃盗会議※
- ・8月30日 個人情報保護委員会とJEAS意見交換会議
- ・9月1日 リテール AI研究会の田中代表と打ち合わせ
- ・9月5日 BSTVのミニ枠の防犯番組企画打ち合わせ
- ・9月9日 第3回JEAS理事会・運営委員会
- ・9月12日 第3回推奨顔認証システム試験実施(書店会館3階)
- ・9月13日 日経クロステック対談(日経BP社)企画の打ち合わせ

- ・9月16日 東京都万引き防止官民合同会議 養成講座講師 上野アトレ店
- ・9月20日 万防機構 LP 制度作成委員会※
- ・9月21日 万防機構 理事会※
- ・9月21日 ヘルス케어協会佐藤聖顧問の公益社団化へのお祝い
- ・9月26日 関西防犯連合会展示会出展
- ・9月27日 危機管理総合展の JEAS セミナーの事前打ち合わせ
- ・9月26日 関西防犯連合会展示会出展
- ・9月28日 茨城県防犯設備協会発起人会
- ・9月29日 万防機構 集団窃盗会議※
- ・9月30日 万防機構 渋谷プロジェクトの検証委員会※
- ・9月30日 パトライト社と勉強会の打ち合わせ
- ・10月4日 顧問 福井昂氏のお通夜、10月5日 の告別式
- ・10月5日 推奨顔認証試験の審査会※
- ・10月11日 キャトルプランとの情報交換会
- ・10月14日 日防設「拡大するカメラ画像の活用と課題」セミナー傍聴
- ・10月21日 第2回科学保安事前研修会の実施※
- ・10月25日 万防機構 LP 教育制度作成委員会
- ・10月26日 万防機構 理事会
- ・10月27日 経済産業省 消費・流通政策課とセルフレジ不正対策会議
- ・10月28日 日本アクア開発社と打ち合わせ
- ・10月28日 キャトルプランの李さんの取材(海外から来られた新たな仲間)
- ・11月1日 総合防犯士会成田会長と打ち合わせ<最新顔認証システム情報>
- ・11月7日 万防機構 集団窃盗会議
- ・11月7日 東京万引き防止官民合同会議 委員長会議
- ・11月8日 日本小売業協会 流通セミナー
- ・11月9日 パプテックス社の書籍 RFID セミナー開催
- ・11月10日 第3回科学保安講習会 事前打ち合わせ会
- ・11月11日 日防設 全国大会参加
- ・11月16日 JDLA AI データと個人情報セミナー
- ・11月18日 第3回科学保安講習会開催
- ・11月19日 JEAS 総会登壇者 ICT 教育の第1人者小林道夫先生と打ち合わせ
- ・11月22日 日経 BP 企画事前打ち合わせ
- ・11月22日 AIリテール研究会セミナー講師(エムリンクス紹介あり)
- ・11月30日 第18回東京万引き防止官民合同会議
- ・12月1日 女性理事対談(セキュリティ産業新聞 12月25日号掲載)
- ・12月6日 万防機構 集団窃盗会議※
- ・12月8日 茨城県防犯設備協会発起人会議

- ・12月12日 日経BP社対談「個人情報保護と生体認証の今を語る」録画
- ・12月13日 「AI・犯罪等統計予測を明日の社業に如何に活かすか」セミナー開催
- ・12月14日 万防機構 LP 制度作成委員会※
- ・12月25日 セキュリティ産業新聞の野口編集長と打ち合わせ
- ・12月20日 アルシスデータ社の JEAS 入会打ち合わせ
- ・12月22日 消費者庁訪問(15分勉強会公益通報者保護法セミナーの御礼)
- ・12月23日 万防・運営委員会&情報交換会
- ・12月28日 アジラ社で会員証贈呈式
- ・1月5日 工業会の税制優遇2年延長対応
- ・1月6日 次回 JEAS 理事会案内作成・配信、セキュリティショーの準備
- ・1月12日 AI 推進店舗向け「実地棚卸なるほど Q&A」オンラインセミナー実施※
- ・1月12日 JAISA オンライン賀詞交歓会※
- ・1月13日 万防機構 重要万引犯罪情報連絡・検討会議(集団窃盗会議改め)※
- ・1月13日 日本防犯設備協会賀詞交歓会
- ・1月19日 アルシスデータ社と打ち合わせ
- ・1月25日 万防機構 運営委員会※
- ・1月25日 日本小売業協会賀詞交歓会
- ・1月25日～26日 ペガサスクラブの政策セミナー会場参加
- ・1月26日 JIPDEC「経済産業省令和5年方針」セミナー※
- ・1月28日 公認不正監査士東西交流会※
- ・1月31日 ペガサスクラブ経由でスーパーマーケットからのロス対策相談(1)
- ・2月6日 個人情報保護委員会訪問 告知 POP の確認
- ・2月7日 万防機構 重要万引犯罪情報連絡・検討会議(集団窃盗会議改め)※
- ・2月9日 日本小売業協会セナー第15次第6回企業経営委員会※
- ・2月10日 アルシスデータ社訪問 会員証授与
- ・2月15日 日本能率協会 小売業ヒアリング調査打ち合わせ
- ・2月15日 万防機構 LP 教育制度作成委員会
- ・2月16日 個人情報保護委員会シンポジウム
- ・2月17日 サイエンスアーツ来社(製品説明と入会説明)
- ・2月17日 個人情報保護委員会 対象事業者研修
- ・2月21日 セキュリティショー打ち合わせ
- ・2月28日 セキュリティショーJEAS セミナー
- ・2月28日～3月3日 セキュリティショーブース対応
- ・3月1日 総合防犯士会総会参加
- ・3月14日 万防機構 重要万引犯罪情報連絡・検討会議(集団窃盗会議改め)※
- ・3月15日 万防機構 LP 教育制度委員会※
- ・3月15日 万防機構 LP 教育制度委員会※

- ・3月16日 セコム研究所訪問 担当変更・工業会税制証明の説明
- ・3月20日 科学保安の新パンフレット作成ト最終会議
- ・3月24日 セルフレジ不正対策タスクフォース準備会
- ・3月29日 万防機構 運営委員会・歓送迎会
- ・3月31日 ペガサスクラブ経由でスーパーマーケットからのロス対策相談(2)

(2) 政策・研究委員会

開催: 令和4年4月22日、6月29日、9月3日、12月2日、令和5年1月27日

- ・4月6日 日経ビデオ勉強会開催
- ・6月2日 通常開会にて「2021年万引防止システムの市場規模に関する調査」発表
- ・7月14日 第7回 JEAS 講習会 22名参加
- ・12月13日 AI・犯罪等統計予測を明日の社業に如何に活かすかセミナー
- ・2月3日 JEAS 推薦製品認定制度
- ・2022年度ロス対策年間チャートの制作と配布
- ・万引防止システムハンドブック第4版の検討
- ・11年ぶりのユーザー様ヒアリング調査(日本能率協会依頼)の検討

(3) DX 推進プロジェクト

- ・開催: 政策・研究委員会と同時開催
- ・10月27日 経済産業省 消費・流通政策課とセルフレジ不正対策会議
- ・11月9日 パブテックス社ショールーム見学会(書籍 RFID)開催
- ・セルフレジ不正対策の冊子作りのためのタスクフォース組成

(4) 技術基準委員会

開催: 令和4年4月21日、6月22日、9月2日、12月1日、令和5年1月24日

- ・北海道大学での干渉テストの継続。4社4システムを実施。
- ・正しい高所作業の方法教育や飲酒への注意喚起
- ・技術標準番号の整理着手(他の委員会のお手本)

(5) カメラ画像安全利用推進委員会

開催: 令和4年4月22日、6月29日、9月3日、12月2日、令和5年1月27日

- ・9月12日 第3回推奨顔認証システム試験実施
- ・10月7日 危機管理産業展「危機管理に役立つエッジ解析カメラ等の最前線事例」セミナー開催
- ・12月18日 中国製カメラの2社注意情報発表
- ・12月27日 画像安全利活用＊警備全国 MAP2022年度版発出
- ・2月8日 顔識別機能付き防犯カメラや振舞い検知画像分析システムの店頭 POP 案を発表
- ・2月17日 「ダミー製品や見せかけ表示の使用はお控えください」を発表
- ・月刊自動認識3月号「万引防止に関する画像認識の状況や使用事例」記事発表

(6) 科学保安講習プロジェクト

開催:カメラ画像安全利用委員会と同時開催

- ・8月25日 万引きに関する関係法令 2022 発出
- ・9月21日 第2回科学保安事前研修会の実施
- ・11月18日 第2回科学保安講習会開催 25名参加
- ・3月20日 工業会 JEAS 認定の先端警備「科学保安員」2023年版パンフレット発表

(7) 個人情報管理室

開催:カメラ画像安全利用委員会と同時開催

- ・4月14日 個人情報保護委員会で第3回犯罪予防や安全確保のためのカメラ画像利用に関する有識者検討会で発表
- ・8月1日 JEAS 個人情報保護指針(第3版)発表
- ・8月4日 個人情報保護委員会と顔認証導入店の告知文についての会議
- ・8月30日 個人情報保護委員会とJEAS 意見交換会議
- ・11月22日 AIリテール研究会セミナー講師
- ・2月16日 個人情報保護委員会シンポジウム参加
- ・2月17日 個人情報保護委員会 対象事業者研修参加
- ・3月31日 情報共有システム「EMLINX」ガイドラインの運用監査実施

(8) 総務委員会

開催:令和4年4月21日、6月8日、9月2日、12月1日、令和5年1月24日

- ・令和4年6月2日令和4年度通常総会・記念講演会を主婦会館プラザエフ9階スズランで開催。
東京都立大学教養学部法学系 星周一郎先生への感謝状贈呈、技術基準委員会、2代目事務局長の
瀬澤外茂幸氏への感謝状贈呈
記念講演は、仙台大学 体育学部 准教授 田中 智仁先生 「防犯システムと人的警備の融合」大島
誠氏 パナソニック(株) エグゼクティブインダストリースペシャリスト「米國小売業」に魅せられて30年—小
売業界の現在地と未来像」
- ・7月15日 リテールテック OSAKA セミナー公開(7月25日まで)
- ・7月20日～22日 リテールテック OSAKA ブース対応
- ・9月26日 関西防犯連合会展示会出展
- ・12月1日 女性理事対談 セキュリティ産業新聞 12月25日号掲載
- ・1月18日 特別オンラインセミナーAI 推進店舗向け「実地棚卸なるほど Q&A」セミナー開催
- ・シリーズ「変化・変容の時代に世のお役に立つ」(1)(2)の発表、・海外から来られた新たな仲間(4)
- ・会報37号と38号の発行
- ・HP 閲覧数上期前年比 74.6(前年 71.6)%, 下期前年比 101.7(前年 80.3)%, FB フォロア 64(昨年 62)名
- ・JEAS ステッカー及び POP の普及 発送計 本年 9,200 枚(前年 9,300 枚)(前前年 18,500 枚)

・工業会の申請受付 本年 64 件(前年 112 件)(前前年 99 件)

<パブリシティー>

警備保障タイムズ 5 月 1 日号「個人情報保護委員会 カメラ利用の有識者会議で発表」

警備新報 5 月 5 日・15 日合併号「個人情報保護委員会 カメラ利用の有識者会議で発表」

警備新報 4 月 25 日 1 頁「万引き防止責任者養成講座」

セキュリティ産業新聞 5 月 25 日号「企業間防犯情報共有の世界観 連携から連帯へ」

セキュリティ産業新聞 6 月 10 日号「令和 4 年 JEAS 総会開催」

セキュリティ産業新聞 6 月 10 日号「JEAS 市場調査発表」

警備保障タイムズ 6 月 21 日号「AI カメラ市場調査/警備業から初の副会長」

警備新報 6 月 25 日号「新副会長に山根久和氏」

セキュリティ産業新聞 6 月 25 日号「研鑽の場創り 防犯民主主義実現の旗の下」

セキュリティ産業新聞 7 月 25 日号「高所作業の安全対策講習」

セキュリティ産業新聞 8 月 25 日号「科学保安講習 夫れ LP 道は一なり、だが道を進むためには」

警備保障タイムズ 9 月 11 日号「JEAS 個人情報保護指針を改訂」

セキュリティ産業新聞 9 月 25 日号「JEAS 個人情報保護指針第 3 版発表 事実対話し自分を知る」

警備保障タイムズ 10 月 1 日「画像の個人情報保護を講演で周知」

警備新報 10 月 5 日号「JEAS 会長 自動認識セミナーに登壇」

警備保障タイムズ 10 月 21 日号「危機管理に役立つエッジ解析カメラ等の最前線事例」

セキュリティ産業新聞 10 月 25 日号「偶然見一点光明 AI・犯罪等統計予測を如何に活かすか」

セキュリティ産業新聞 11 月 25 日号「第 3 回推奨顔認証システム交付式」

警備保障タイムズ 12 月 1 日号「第 3 回科学保安講習会を開催」

セキュリティ産業新聞 12 月 25 日号「社説に JEAS 永劫の使命（理事心得）が紹介」

セキュリティ産業新聞 12 月 25 日号「JEAS&万防 女性理事対談 LP その未来に向かって」

警備新報元旦号「会長挨拶」

セキュリティ産業新聞 1 月 10 日号「JEAS 会長年頭所感」

日経クロステックのスペシャル対談 1 月 31 日号「個人情報保護と生体認証の今を語る」

警備保障タイムズ 2 月 21 日号「JEAS 推薦製品認定制度を新設」

セキュリティ産業新聞 2 月 10 日号「ロス対策・パラダイムシフト*ながる心が生む新世界」

電波タイムズ 3 月 1 日号「JEAS 万引をさせない店舗作り」

警備新報 3 月 5 日号「第 31 回セキュリティショー紹介」

<会員の増減>

正会員入会 7 社：富士通フロンテック（株）、リアルネットワークス（株）、日本 NCR（株）、

アジラ（株）、ネクストウェア（株）、アルシスデータ（株）、（株）サイエ
ンツアーツ＜正式：令和5年4月＞

賛助会員入会2社：（株）NICCOサポート、（株）セキュアリンク

賛助→正会員1社：（株）JSS＜正式：令和5年4月＞

正会員退会0社：

賛助会員退会2社：サニーヘルス（株）、丸紅（株）

JEAS 公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>



JEAS 公式「ロス対策メルマガ」登録サイト

毎月第2水曜、第4水曜日の正午に配信

<https://www.jeas.gr.jp/mail.html>



ロス対策年間チャート2023年度版

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230330.pdf>



4. 会員名簿

協会会員一覧

正会員（38社）

アイアンドティテック（株）	C I A(株)
IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株)GeoVision
AWL(株)	シグマ(株)
アクセスコミュニケーションズ（株）	セコム(株)
アースアイズ(株)	セフトHD(株)
(株) アジラ	高千穂交易(株)
アドセック（株）	タカヤ(株)
アルシスデータ(株)	チェックポイントジャパン(株)
(株) エイジス	(株)店舗プランニング
NECソリューションイノベータ(株)	日本NCR(株)
エム・ケー・パビック（株）	日本電気(株)
(株) オカムラ	ネクストウェア(株)
(株) キャトルプラン	パナソニックコネクト(株)
(株) 杏林社	富士通フロンテック(株)
グローリー(株)	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株) ゴジョウ・ウエイズ	マイディキューブ(株)
(株) K S M	Matsuo Sangyo (株)
サクサ（株）	(株)三宅
(株) セキュリティデザイン	リアルネットワークス(株)

賛助会員（12社）

(株) アスラボ	三愛化成商事(株)
亜細亜印刷(株)	チェスコムアドバンス(株)
サニーヘルス(株)	(株) N I C C Oサポート
(株) J S S	(株) 日本保安
(株) 自己啓発協会	丸紅(株)
(株) セキュアリンク	(株) ロケット

特別会員（8団体）

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国期警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールA I 研究会
タグ&バック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

西暦 2022 年度

5. 令和 4 年度収支報告

令和4度(第二十一期)収支報告書 案

令和5年3月31日

収入			支出		
	予算	実績		予算	実績
前期繰越額	6,319,019	6,319,019	1. 公益事業	7,214,356	7,117,442
1. 公益事業	8,184,000	8,545,600	(1)人件費	305,556	305,556
(1)会費収入	5,010,000	5,360,000	(2)家賃	712,800	712,800
正会員 32社	4,430,000	4,390,000	(3)事業活動費	5,573,000	5,538,374
賛助会員 8社	400,000	320,000	①旅費交通費	120,000	70,010
新規加入 8社	180,000	650,000	②通信費	379,000	332,164
(2)総会会費・新年会会費	60,000	68,000	③交際費	23,000	43,723
(3)ステッカー・POP売上	950,000	1,029,600	④会議費(会場費他)	160,000	278,387
(4)調査・研究受託事業	1,295,000	1,360,000	⑤事務用消耗品	120,000	130,154
(5)設備証明書発行事業	869,000	728,000	⑥運賃(宅配・メール便)	50,000	78,893
2. 収益事業	160,000	185,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	909,000	767,949
(1)教育事業	160,000	185,000	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,900,000	2,317,200
(2)出版事業	0	0	⑨支払手数料	25,000	20,110
3. その他	2,800	1,762	⑩租税公課	110,000	10,210
(1)受取利息	0	62	⑪雑費	10,000	20,000
(2)雑収	2,800	1,700	⑫図書費	156,000	146,074
(単年度収入計)	8,346,800	8,732,362	⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	176,000	187,000
			⑮機器評価	1,435,000	1,136,500
			(4)総会費用	623,000	560,712
			2. 収益事業	1,128,356	1,123,146
			(1)人件費	305,556	305,556
			(2)家賃	712,800	712,800
			(3)収益事業等の制作費と教育費	90,000	104,790
			(4)予備費	20,000	0
合計	14,665,819	15,051,381	合計	8,342,712	8,240,588
			次年度繰越残高	6,323,107	6,810,793
総計	14,665,819	15,051,381		14,665,819	15,051,381

監 査 報 告 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行ない次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事会及び理事からの業務の報告を聴取し、理事会に出席し、監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期間における当工業会の収支計算書類は適正かつ正確であり、指摘すべき事項は認められませんのでここにご報告申し上げます。

令和5年 6月 2日

工業会 日本万引防止システム協会

監事

森 雅裕 

同

森川 真次 

(第2号議案) 推薦製品制度の発令、推薦製品の紹介

工業会認定5周年を記念し、2023年度のテーマ案である「ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～」に合わせ、JEASの理念に沿ったシステム・サービスを「推薦製品」とする制度を設けます。2022年に試験運用を重ねてきました、本日の通常総会の決議をもって、日本産業再生の一助となるべく会員外を含めて発令いたします。

説明用の冊子はこちらです。 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230202-2.pdf>

本制度の申込書・要綱(word版)はこちらです。 <https://www.jeas.gr.jp/20230203.docx>


工業会認定 **5周年** 記念事業


工業会JEAS「推薦製品」認定制度

Systems and Services recommended by the Industrial Association JEAS

工業会認定5周年を記念し、2023年度のテーマ案である「ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界」に合わせ、JEASの理念に沿ったシステム・サービスを「推薦製品」とする制度を設けます。2022年に試験運用を重ね、2023年6月2日の通常総会をもって決議し、正式にスタートします。

※推薦マークはデザインAまたはデザインBからお選びいただけます。

デザインA

デザインB

推薦の方針

「万引き防止策」の強化について(通知)に関する対応、JEAS新活動宣言、防犯民主体の表現と攻めの防犯、JEAS永続の使命、記事共有のお願いに照らし、地域社会及び小売業者の皆様は自信をもって「推薦」することができるシステム・サービスであることを認める制度です。

ICT技術やAIなどの進化に伴い、密集・動線・映像調査、統合型NVR、多機能クラウドカメラ、権限分析、防犯情報共有、自動会計、出退勤・入退室管理(顔認証やRFID含む)、配膳、ロボット配送、見守り・介護補助などで実用化されたものを幅広く対象とします。

※本制度の申込書・要綱(word版)はこちらです。 <https://www.jeas.gr.jp/20230203.docx>

推薦条件


JEAS入会条件である「電波法や電安法などの関連法令の遵守」やシステムセキュリティ対策や業務監査は基より、以下の事項についても書面をもって政策・研究委員会が提出内容を確認します。申請企業がJEAS対象事業者として、製造・輸入・販売のいずれに携わっていること。

- 01 個人情報保護委員会などの公的機関または公正な第三者機関によって確認されたガイドラインや運用マニュアルを有すること。無い場合は要相談のこと。
- 02 市場での半年以上の運用実績を持ち、5社以上の公表ユーザー様がいること。
- 03 JEASの市場調査や技術アンケート調査に対し、積極的に協力していること。
- 04 自由主義国家より何らかの販売制限を受けていないこと。人権抑圧や環境破壊などの反社会的な目的で使用されていないこと。

- 注1 バージョンアップやファームウェアの変更があっても再申請は不要。
注2 審査対象によっては技術基準委員会やカメラ画像安全利用推進委員会の協力を得る。
注3 製品の特性上、審査項目に該当しない場合は、政策・研究委員会が総合的に判断する。
注4 EASゲートや小売向け推薦認証システムは認定制度があるため、その分野の製品は受け付けない。
注5 上記の推薦条件に対し、重大な逸脱行為、悪用の毀損行為により、当工業会に損害を与えた際は、その賠償責任を負うこと。推薦を取り消したことをHPで公表する。

今後の予定

今期は試験的に2つのシステムを「推薦製品」とし、運用面の問題点を検討します。その上、通常総会後に、正式に審査の受付を開始します。年5回開催の政策・研究委員会でも審査し、「推薦製品」とした場合、「推薦製品」認定マーク及び33,000円(税込)の費用請求を会員申請企業にデータ送付します。会員外企業の申請費用は66,000円(税込)となります。なお、「推薦製品」した製品・サービスは当工業会のHPで公開します。

※Word版・PDF版では、は原文へのリンクとなっております。リンクを開いてご確認ください。

JEAS 工業会
日本万引防止システム協会 政策・研究委員会
認定個人情報保護団体

2022年度試行版

工業会JEAS「推薦製品」のご紹介

Systems and Services recommended by the Industrial Association JEAS
～安全面の情報公開と継続的な運用体制を重視～

エムリンクス

店舗向け情報配信サービス「EMLINX」

企業・業界を超えて情報共有するクラウド型防犯サービス

高千穂交易(株)

EMLINXとは小売店向け盗難被害情報の緊急通報システムです。企業間において防犯情報を迅速に展開することで、万引などの店舗犯罪を未然に防ぐクラウド型防犯サービスです。企業規模や地域に拘らずご利用可能で、エムアラート(緊急通報)などでの情報共有、蓄積されたデータからの分析、報告書などの各種帳票が随時出力できます。また、ご利用に必要なものはインターネットに接続可能なパソコンやスマートフォンとメールアドレスのみで、初期費用無し、月額基本千円(アカウント毎)と低コストでご利用いただけます。ご利用ユーザーが増えれば増えるほど強力な防犯システムとなるEMLINX。個人情報保護法に準拠した安全・安心なシステムとして、各業界・各地域でご利用いただいております。

【特許取得】特許番号7186823号



ワイディモ

ワイレス盗難防止システム「Wi-dimo」

逆転の発想から生まれた特許取得済みの防犯システム

タカヤ(株)

従来の万引き防止システムでは、出入口に防犯ゲート(アンテナ)を設置して、未精算のまま、防犯タグを取り付けられた商品を出入口に持ち出すと、ゲートやタグが発報してお知らせする、というものでした。本システムは、アンテナにて囲まれた電波エリアから専用の防犯タグを取り付けられた商品を持ち出すと発報し、電波エリアに戻すと自動的に発報が停止します。出入口が多い、出入口付近に商品を置きたい、特定のエリアのみ防犯したい、などの幅広いニーズに応えることができるシステムです。また、本システムは、日本国内で設計・製造されたものを使用しており、専門の電波検査機関による試験を受けた安全なものとなっています。 <https://www.takaya.co.jp>



連絡先 工業会 日本万引防止システム協会 事務局 TEL: 03-3355-2322 FAX: 03-3355-2344
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 7F <https://www.jeas.gr.jp> E-mail: info@newjeas.gr.jp

JEAS-202300125

西暦 2023 度

(第3号議案) 令和5度の組織、人事の件

理事 高村 徳明氏 リアルネットワークス (株)

上記以外の、理事及び監事については、令和 4 年度より任期 2 年で就任いただいておりますので、3 号議案成立をもって、令和 5 年度の役員人事は次のとおりとなります。

工業会 日本万引防止システム協会役職 (案)

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易(株)	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	副会長	セフトHD(株)	代表取締役社長	山根久和
5	理事 (政策・研究委員会)	IDEC ファクトリーソリューションズ(株)	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
6	理事 (政策・研究委員会)	キャトルプラン(株)	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 (政策・研究委員会)	(株)セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事 (政策・研究委員会)	(株)店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 (政策・研究委員会)	日本電気(株)	スマートリテール統括部 映像アナリティクスグループ	摺田祐司
10	理事 (政策・研究委員会)	ビブリオテカ・ジャパン(株)	営業部部長	松崎泰二
11	理事 (総務委員会)	マイティキューブ(株)	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 (総務委員会)	(株)エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 (総務委員会)	NECソリューションイノベータ(株)	九州支社 第二グループ KAOATO グループ 主任	上野順子
14	理事 (事務局長、技術基準委員会)	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
15	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	グローリー(株)	リテールソリューション 販売支援部	山本健二
16	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	リアルネットワークス(株)	アジア太平洋地区副社長	高村徳明(新任)

17	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	(株)GeoVision	企画営業部チーフ	桑原春奈
18	理事 (個人情報管理室)	(株)ゴジウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo (株)	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ (株)	シニアアカウントマネージャー (リテール)	森川真次(新任)

敬称略・順不同

顧問

佐藤 聖 元（一財）元流通システム開発センター 調査部長
井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長
雑賀真良 元（株）オカムラ商環境事業本部 セールスサポート部※

委員会

- 総務委員会
【委員長】：近江氏 【委員】：米山氏、本川氏※、上野氏、田中崇氏、清永氏、李宜庭（Lee Yi Ting）氏※、藍佐和子氏※
- 政策・研究委員会
【委員長】：摺田氏 【委員】：佐久間氏、谷氏、那谷氏、松崎氏、飛永氏、佐藤圭三氏
- 技術基準委員会
【委員長】：田丸氏 【委員】：多ヶ谷氏、小嶋氏、堀内氏※
- カメラ画像安全利用推進委員会
【委員長】：三宅氏（副）高村氏※：【委員】：山本氏（WG 長）、摺田氏、新井氏、桑原氏、水野氏

プロジェクト

- 科学保安講習プロジェクト
【リーダー】：青柳氏 【委員】：林氏（技術 WG 長）、長岡氏（データ活用アドバイザー）、山根氏（総括指導）
- DX 推進プロジェクト
【リーダー】：田中崇氏 【委員】：近藤氏、井上謙二氏※、中村氏※
【主席アドバイザー】：セキュリティ産業新聞社 編集長 野口勇人氏

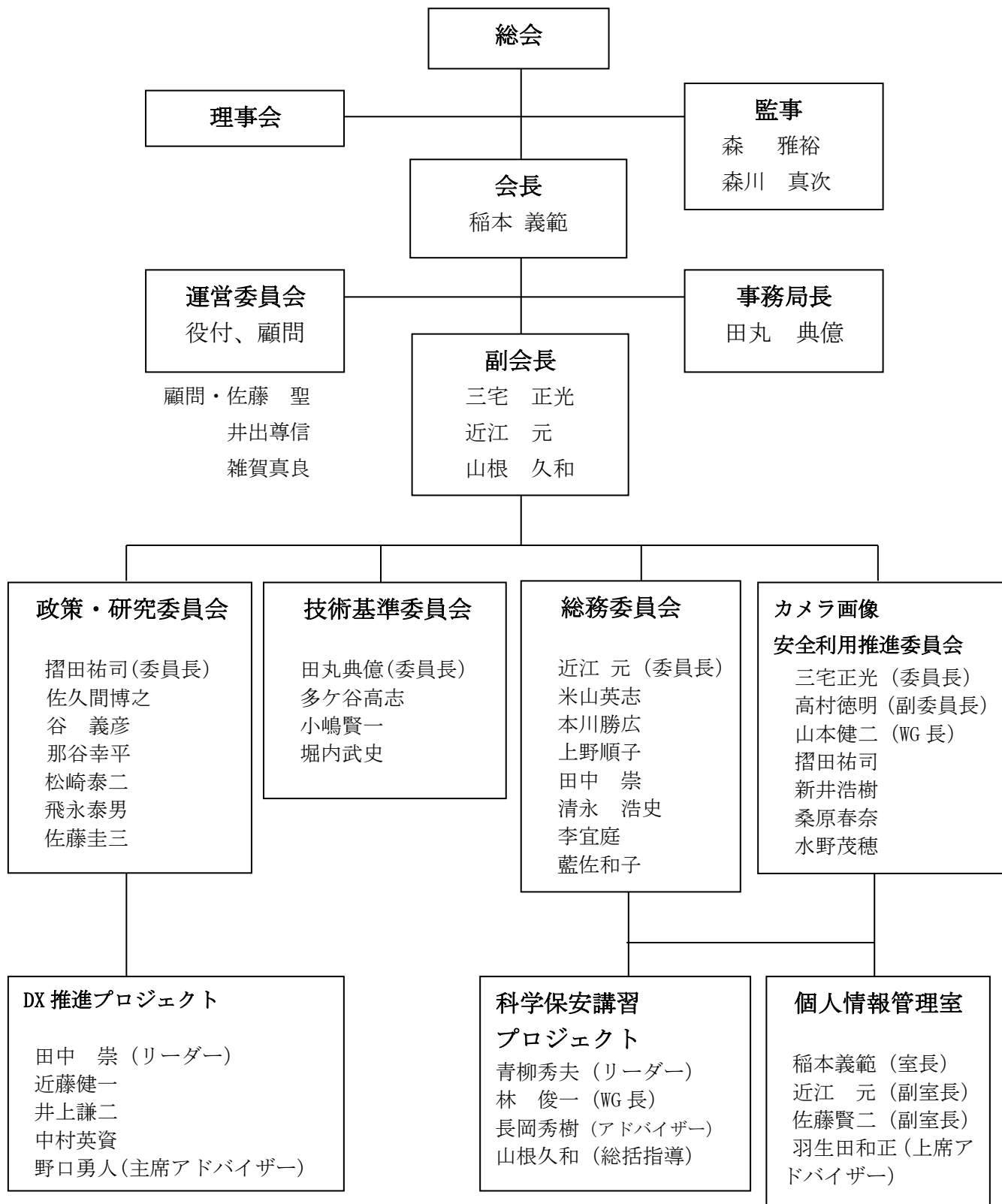
個人情報管理室

【室長】：稲本氏、【副室長】：近江氏、【副室長】：佐藤賢二氏
【上席アドバイザー】：羽生田氏※

※は新任

(順不同)

【令和5年度 工業会 日本万引防止システム協会組織図】（案）



(第4案) 令和 5 度事業計画、収支予算の件

令和 5 年度事業計画

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会的実現に向けてJEASの役割を果たそう！
防犯民主主義実現の旗の下、EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

本年度、当工業会では、以下の観点で事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・セキュリティショー大阪2023にブース出展 7月20日～21日<新>
 - ・セキュリティショー2024にブース出展、セミナー開催 3月12日～15日
 - ・ソフトウェア協会 顔認証ビジネス研究会主催のセミナー講師派遣 5月9日<新>
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動（本年から2年延長）
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動・
 - ・通常総会記念講演会 6月2日
 - ・2023年度ロス対策年間チャートの制作と配布4月25日
 - ・万引防止システムハンドブック第4版の作成 <継続>
 - ・新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会FBやメルマガでの各社紹介
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会/JEASメール/JEASフェイスブック等での情報提供
 - ・第3回科学保安講習会開催11月16日 第3回科学保安前講習（保安警備業務の手引）10月19日
 - ・JEAS22周年記念慰労&健康増進会 6月2日<新>
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EASステッカーやEAS導入店表示POP の普及促進、北大での干渉テストの継続実施
- 5) 無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査
 - ・セルフレジ不正防止のための冊子作り<新>
 - ・DX推進プロジェクトの継続、DX推進流通業の視察
 - ・AI関係やDX推進の団体やコンソーシアムとの連携
- 6) 機器の信頼性アップのための対策推進
 - ・第4回推奨顔認証システム審査5月募集開始、9月4日・6日～8日実施（都内）、11月16日発表
 - ・顔認証導入店告知や推奨顔認証ステッカーの普及促進
 - ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得
- 7) 解除器の盗品流通防止活動
 - ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続
- 8) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
 - ・個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力
- 9) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動
 - ・2023年業界別ユーザーのセキュリティ等のニーズ調査（日本能率協会委託）<新>
 - ・JEAS推薦製品認定制度の発令と実施<新>
 - ・企業間の協働防犯の推進！即時情報や分析データの共有をネットも含めて進める。<新>
 - ・海外から来られた新たな仲間の紹介

- ・ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度の継続など）

10) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化

- ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省と連携
- ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体と連携

西暦 2023 年度

2. 令和 5 年度事業予算案

<収入予算案>

前期繰越額	・ ・ ・ 6,810,739	
1. 公益事業	・ ・ ・ 8,963,000	
・ 会費収入	・ ・ ・ 5,730,000	
正会員	・ ・ ・ 5,270,000	39社
賛助会員	・ ・ ・ 280,000	7社
新規加入	・ ・ ・ 180,000	7のランク2社の目標
・ ステッカー・POP売上	・ ・ ・ 950,000	ステッカー計9千枚
・ 調査・研究受託事業（機器評価）	・ ・ 1,395,000	干渉テスト2機種、奨顔認証3機種
・ 設備証明書発行事業	・ ・ ・ 728,000	64件
・ 総会参加費	・ ・ ・ 160,000	意見交換会参加費
2. 収益事業	・ ・ ・ 155,000	
・ 教育事業	・ ・ ・ 155,000	JEAS講習会、科学保安講習
3. その他	・ ・ ・ 1,700	
・ 雑収	・ ・ ・ 1,700	ガイドブック販売
今期収入計	・ ・ ・ 9,119,700	
収入計（前期繰越金含む）	・ ・ ・ 15,930,493	

<支出予算案>

1. 公益事業	・ ・ ・ 7,690,356	
(1) 人件費	・ ・ ・ 305,556	
(2) 家賃	・ ・ ・ 712,800	
(3) 事業活動費	・ ・ ・ 6,229,000	
・ 旅費交通費	・ ・ ・ 90,000	リテールテックOSAKA出張他
・ 通信費	・ ・ ・ 333,000	回線使用料15万円、電話代9万3千円 郵送代9万円
・ 交際費	・ ・ ・ 33,000	団体・講師の土産他
・ 会議費（会場費他）	・ ・ ・ 180,000	会場費12万円、お茶代等
・ 事務用消耗品	・ ・ ・ 170,000	PC関連8万円、トナ2万5千円、コピー3万5千円、他文具3万円

・ 運賃	・ ・ ・ 85, 000	宅配代
・ 印刷費 (ステッカー・リーフレット)	・ ・ ・ 1, 335, 000	POP制作30万円、封筒3万5千円、冊子増刷5万円、ハンドブック作成70万円、会員証2万円、認定証2万千円、顔認定認定書2万円、修了証3万円、感謝状1万、JEAS講習会2万円、名刺2万円、総会資料印刷15万円
・ 宣伝広告費 (HP・広報・調査)	・ ・ ・ 2, 362, 000	39号40号会報38万円、HP10万円、セキュリティ産業新聞広告4万円、セキュリティショー34万円、ユーザーヒアリング調査70万円、セキュリティショ大阪26万、万防機構会報広告2回24万円、委員会活動1万円、冊子制作7万円、書起こし4万円、メルマガ配信6万円、ロス対策士報奨10万円、総会Youtube配信1万2千円、取材費1万円他
・ 支払手数料	・ ・ ・ 25, 000	
・ 租税公課	・ ・ ・ 131, 000	一般社団の申請費用他
・ 雑費	・ ・ ・ 10, 000	
・ 図書費	・ ・ ・ 156, 000	新聞関係12万6千円、図書代他3万円
・ 会費	・ ・ ・ 187, 000	万防機構5万円、日本心臓ペースメーカー友の会1万円、小売業関係10万円他
・ 福利厚生費	・ ・ ・ 350, 000	創立22周年事業 (慰労会&健康増進)
・ 機器評価 (干渉試験/顔認証)	・ ・ ・ 782, 000	北大テスト3機種52万円、推奨顔認審査費用24万円他
(4) 総会費用	・ ・ ・ 443, 000	会場費34万5千円、車代6万円、お土産代1万8千円他
2. 収益事業	・ ・ ・ 1, 173, 356	
(1) 人件費	・ ・ ・ 305, 556	
(2) 家賃	・ ・ ・ 712, 800	
(3) 収益事業等の制作費と教育費	・ ・ ・ 135, 000	JEAS講習会と科学警備資料作成費他
(4) 予備費	・ ・ ・ 20, 000	
合計	・ ・ ・ 8, 863, 712	
次年度繰越残高	・ ・ ・ 7,066,781	

西暦 2023 年度
令和5年度(第二十二期)予算案

収入			支出		
	(昨年度実績参考値)	予算		(昨年度実績参考値)	予算
前期繰越額	6,319,019	6,810,793	1. 公益事業	7,117,442	7,690,356
1. 公益事業	8,545,600	8,963,000	(1)人件費	305,556	305,556
(1)会費収入	5,360,000	5,730,000	(2)家賃	712,800	712,800
正会員 40社	4,390,000	5,270,000	(3)事業活動費	5,538,374	6,229,000
賛助会員 7社	320,000	280,000	①旅費交通費	70,010	90,000
新規加入 2社	650,000	180,000	②通信費	332,164	333,000
(2)総会会費・新年会会費・記念行事	68,000	160,000	③交際費	43,723	33,000
(3)ステッカー・POP売上	1,029,600	950,000	④会議費(会場費他)	278,387	180,000
(4)調査・研究受託事業(干渉/顔/他)	1,360,000	1,395,000	⑤事務用消耗品	130,154	170,000
(5)設備証明書発行事業	728,000	728,000	⑥運賃(宅配・メール便)	78,893	85,000
2. 収益事業	185,000	155,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	767,949	1,335,000
(1)教育事業	185,000	155,000	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	2,317,200	2,362,000
(2)出版事業	0	0	⑨支払手数料	20,110	25,000
3. その他	1,762	1,700	⑩租税公課	10,210	131,000
(1)受取利息	62	0	⑪雑費	20,000	10,000
(2)雑収	1,700	1,700	⑫図書費	146,074	156,000
(単年度収入計)	8,732,362	9,119,700	⑬福利厚生費	0	350,000
			⑭会費	187,000	187,000
			⑮機器評価(干渉試験/顔認証)	1,136,500	782,000
			(4)総会費用	560,712	443,000
			2. 収益事業	1,123,146	1,173,356
			(1)人件費	305,556	305,556
			(2)家賃	712,800	712,800
			(3)収益事業等の制作費と教育費	104,790	135,000
			(4)予備費	0	20,000
合計	15,051,381	15,930,493	合計	8,240,588	8,863,712
			次年度繰越残高	6,810,793	7,066,781
総計	15,051,381	15,930,493		15,051,381	15,930,493